



署名アクションと、全国各地でのイベント、缶バッジの販売を行います。

子どもの健やかな成長を妨げる「児童労働」。世界では、**約2億1800万人、子どもの7人に1人**が「児童労働」に従事しており（5歳～17歳、2006年ILO発表）、世界中で格差が広がる中、その底辺で子どもたちが犠牲になっています。日本も批准している二つのILO条約では、原則として15歳未満の子どもの労働を禁止し（第138号条約）、17歳までの子どもが行う最悪の形態の児童労働を撤廃するための即時・有効な措置を取ることを求めています（第182号条約）。また、国連子どもの権利条約（日本批准）では、すべての子ども（18歳未満）は教育を受け、経済的搾取から守られる権利があると定めています。

6月12日は、国際労働機関（ILO）が定めた「児童労働反対世界デー」。世界の児童労働問題の解決に日本から貢献することを目指すNGO、労働組合、研究者などが構成する**児童労働ネットワーク**（略称CL-Net：代表 堀内光子/文京学院大学大学院特別招聘教授）は、この日に向けて、4月12日から「**児童労働反対世界デー・キャンペーン2010**」を展開しています。

●2010年は、4年に1度の、**国際労働機関（ILO）**から児童労働に関する最新統計が「**グローバルレポート**」によって発表される年に当たります。児童労働の数は、前回06年報告の2億1800万人から減少したのか、注目が集まっています。この時に、連休明けの5月10日、11日には、オランダ・ハーグで児童労働撤廃に向けての道筋を決める重要な国際会議が開催されます。2010年は、児童労働撤廃への決意を新たにし、さらなる取り組みを強める、重要な年です。

「児童労働反対世界デー」6月12日は、児童労働の今を知り、未来を考えるイベントを開催します。上映する映画は、ケニアで暮らすストリート・チルドレンをテーマにした『チョコラ!』。監督の小林茂さんをお招きし、制作にまつわるエピソードを語っていただきます。シンポジウム「児童労働の今、そして未来」では、世界の児童労働の状況やNGOなどの活動事例を知り、これからを考えていきます。6月30日までの期間中に、全国で、**19のイベントを開催**します。キャンペーンでは**署名活動**を行い、日本政府に児童労働撤廃に向けての行動計画の策定するよう呼びかけます。さらに、**缶バッジ(2個セット500円)を販売**し、売上のうち300円を児童労働に取り組む活動に活用していきます。（各地でのイベントや缶バッジの販売については、各団体にお問い合わせください。）

<p>児童労働反対世界デー・キャンペーン2010ウェブサイト</p>	<p>stopchildlabour.jp</p>
<p>●キャンペーン、児童労働ネットワーク、主催イベントに関する問い合わせ</p> <p>児童労働ネットワーク事務局（NPO 法人 ACE 内） 担当：植木 （〒110-0015 東京都台東区東上野 1-6-4 あつきビル 3F （特活）ACE 内）</p> <p>電話：03-3835-7555 FAX：03-3835-7601</p> <p>Eメール：info@cl-net.org URL：www.cl-net.org</p>	



参考資料

●児童労働とは

危険で有害な労働により、子どもの健やかな成長を妨げる「児童労働」。劣悪な環境での長時間労働、借金の肩代わりとしての強制労働、人身売買され性産業での買春、戦争にかり出される子ども兵士など、世界では2億1800万人の子どもたちが学校にも行けず、過酷な労働を強いられています。このうち危険・有害な労働についている子どもたちは1億2600万人（2006年、ILO発表）。世界で小学校に通っていない子どもたちは7200万人、その54%は女の子で、児童労働が大きな障害となっています。一方で、初等義務教育の普及が児童労働問題解決の鍵でもあります。



カーペットを織る少女 (C) ILO

●児童労働反対世界デー・キャンペーンとは <http://stopchildlabour.jp>

6月12日は、2002年にILOが定めた「児童労働反対世界デー (World Day against Child Labour)」。

児童労働の撤廃を目指して、毎年世界各地で様々な広報啓発活動が展開されています。日本では、児童労働のない世界を目指して、社会に対し幅広く児童労働問題について知らせると共に、問題の解決のために行動する人を増やすことを目的として、2006年から全国各地でキャンペーン活動を行ってきました。昨2009年は、各地で開催した18のイベントに1万人以上が参加し、また署名活動では74,396人の声が集まり、キャンペーンにのべ約85,000人が参加しました。今年も全国でのさまざまなイベントが計画され、署名も6月末に10万人を目標に進めています。

● 児童労働ネットワーク(CL-Net)とは <http://www.cl-net.org/>

児童労働の問題解決に日本から貢献することを目指すネットワーク。現在、児童労働問題に取り組む20団体と関心を持つ7個人が会員として参加しています。キャンペーンには、その他16団体が賛同しています（2010年5月時点）。

■ 会員団体(50音順、20団体)

(特活) アジア日本相互交流センター ICAN、(社) アムネスティ・インターナショナル日本、(特活) ACE、(特活) エファジャパン、(特活) かものはしプロジェクト、(特活) グッドネーバーズ・ジャパン、グローバル・ヴィレッジ、(特活) 国際子ども権利センター、国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)、(財) 国際労働財団 (JILAF)、(社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、(特活) ソルト・パヤタス、(特活) テラ・ルネッサンス、(特活) 日本オーガニックコットン流通機構、日本労働組合総連合会、働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン (OLAL)、フード連合 (日本食品関連産業労働組合総連合会)、フェアトレード・リソースセンター、(特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、UI ゼンセン同盟

■ キャンペーン賛同団体(50音順、16団体)

アジアの女性と子どもネットワーク、(特活) アフリカ日本協議会、エイズ孤児支援 NGO・PLAS、NTT 労働組合、教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)、(特活) 国境なき子どもたち (KnK)、合同出版 (株)、情報産業労働組合連合会、世界子ども通信「ブラッサ」、(特活) チャイルド・ファンズ・ジャパン、(特活) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会 (JFSA)、(財) 日本フォスター・プラン協会 (プラン・ジャパン)、(特活) ハンガー・フリー・ワールド、(特活) ヒューマンライツ・ナウ、MINESHA (ミネージャ)、(特活) ワールド・ビジョン・ジャパン